

図画工作科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
<ul style="list-style-type: none"> はさみ、のり、クレパスなどの基本的な使い方ができた。教師や友達の作品を真似や、自分なりの発想に自信がない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由な発想が苦手で、教科書の見本を真似るので精一杯の児童が多い。 思った通りの形や色の工夫を、途中で諦めて出来上がりにしたがる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取りかかりはよいが、最後まで意欲が持続できず、作品がきちんと仕上がらない児童がいる。 よく見て描くことが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や友人の作品を真似ようとし、自分なりの発想や構想を出すことができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいイメージに合わせて用具を正しく使い、丁寧に作り上げることができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作に時間がかかったり、悩んだりして自分が表したいことに自信がなく心配になる児童がいる。

2 課題や授業の改善策

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 表したいことに合わせた材料や用具を使い、基本的な技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな形や色などに気付く。 手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 色や形、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全な使い方を毎時間確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 色や形、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全な使い方を毎時間確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かして活動できるように助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。 表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かして活動できるように助言をする。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 児童同士の交流や教師のアドバイスを通して、表したいことや表し方などについて考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 触った感じやいろいろな形などや友達の作品に触れ、自分の見方や感じ方を広げることで自分のイメージをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 操作過程の鑑賞や協力しながら作成する場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、自信をもって表現できるように、認め合う雰囲気大切に作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切に作る。 造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切に作る。 造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切に、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。 造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。 形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切に、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。 造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。

※太枠内は、特に重視する内容